

例1) 開示すべき事項があるときのCOI開示例

<p>第〇〇回日本医療情報学会〇季学術大会 COI開示</p>
<p>演題名 : 筆頭演者名 :</p>
<p>私が発表する今回の演題について開示すべきCOIは以下のとおりです。</p>
<p>研究助成金：所属施設において承認済 奨学寄付金：〇〇〇〇株式会社 原稿料：〇〇〇〇製薬 講演料：〇〇〇〇株式会社 役員・顧問等の就任：〇〇〇〇株式会社</p>

- 注1) 発表や講演の内容に関係する、演題応募時から遡って1年間の利益相反状態を記載すればよい。
- 注2) 開示すべき事項がある項目のみ記載すればよい。
- 注3) 所属施設の利益相反の指針・規程等によって承認を得ている場合は、「所属施設において承認済」と記載すればよい。

例2) 開示すべき事項がないときのCOI開示例

<p>第〇〇回日本医療情報学会〇季学術大会 COI開示</p>
<p>演題名 : 筆頭演者名 :</p>
<p>私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません。</p>

例3) 開示すべき事項があるときのCOI開示例

(企業の方が大学の研究者として籍を置くなど、複数の組織や団体等に所属している場合)

<p>第〇〇回日本医療情報学会〇季学術大会 COI開示</p>
<p>演題名 : 筆頭演者名 : □□ □□ (△△△△大学、〇〇〇〇株式会社)</p>
<p>私が発表する今回の演題について開示すべきCOIは以下のとおりです。</p>
<p>(△△△△大学) 研究助成金：〇〇〇〇株式会社 奨学寄付金：〇〇〇〇株式会社 (〇〇〇〇株式会社) 旅費：◇◇◇◇株式会社</p>

- 注1) 発表や講演の内容に関係する、演題応募時から遡って1年間の利益相反状態を記載すればよい。
- 注2) 開示すべき事項がある項目のみ記載すればよい。